

特別展 親鸞 —茨城滞在20年の軌跡—

鎌倉時代は鎌倉仏教とよばれる、個人の救済を説く新しい仏教が起った時代であり、その祖師のひとりが浄土真宗を開いた親鸞です。親鸞は90年の生涯のうち、壮年期の20年を茨城で過ごし、ここを拠点に布教を進めました。それは茨城の自然と風土のなかに身を置き、そこに生きる人びとと語り合い、親交を深める日々でもありました。

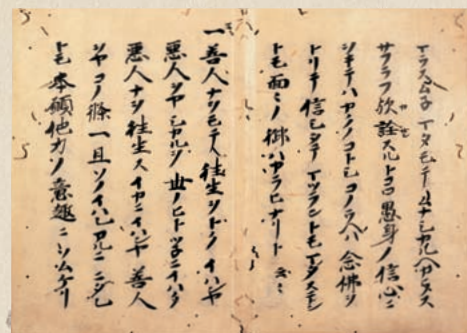
親鸞ゆかりの資料・記録を提示し、また親鸞の教えの広まりと深化のなかで育まれた真宗美術の数々をととして、親鸞の生涯と思想、親鸞を支えた家族と社会、そして親鸞が京都に赴いた後も、師の教えを受け継いだ面授の弟子たちの動向という視点から、茨城における親鸞の軌跡をたどり、滞在20年の意義を探ります。



国宝 親鸞直筆 坂東本教行信証
鎌倉時代
所蔵・写真提供 真宗大谷派(東本願寺)



絹本着色 恵信尼坐像(部分)
室町時代
笠間市・西念寺所蔵



歎異抄(永正本)
室町時代
所蔵:写真提供 大谷大学博物館



重文 聖徳太子絵伝(部分)
鎌倉時代
那珂市・上宮寺所蔵



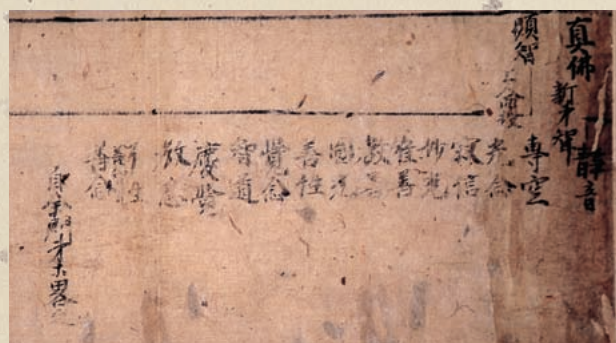
重文 拾遺古徳伝絵(部分)
鎌倉時代
銚田市鳥栖・無量寿寺所蔵



重文 木造彩色聖徳太子立像
鎌倉時代
水戸市・善重寺所蔵
写真提供:茨城新聞社



茨城県指定文化財
銅製鍍金 阿弥陀如来立像
鎌倉時代
水戸市・信願寺所蔵



茨城県指定文化財
親鸞門侶交名(部分)
室町時代
下妻市・光明寺所蔵

交通のご案内

◎茨城交通バス、茨城オートバス(水戸駅北口4番のりば)「桜川(西団地)」等偕楽園方面行き乗車、「歴史館・偕楽園入口」下車、徒歩2分。
◎常磐自動車道水戸インターチェンジから約7km、車で15分。

